生涯充実して暮らせる都市を創る

Q① 子育て支援は金銭面の支援も必要だが、空き保育所施設の利用や、子連れ勤務（子ども連れで出勤し、育児が必要な時は別室で育児をする）ができるような施策を考えてはどうか。（美山文化ホール）

A① 保護者の保育に対するニーズは多様化しています。保育のニーズに対応できる体制づくりの検討をしていきます。また、市の業務も保育所と幼稚園の縦分けをせず、総合的に管轄する子育て支援課の設置やプロジェクトチームをつくり、時代やニーズに合った子育て支援を進めています。

Q② 少子化により小学校入学児童が毎年減少し、学校の統廃合が問題になっている。教育効果を考えると、児童数が多い中で学ばせる方が良いともいわれるが、地域の絆（きずな）を守るには有形の学校が核となるため、統廃合については慎重に議論して、地域活性化のための検討をしてほしい。（八木公民館）

A② 教育では学校統廃合ありきとは考えていませんが、子どもたちにとってどうすれば良いかを一番に考え、これからの論議を深めていきたいと考えています。

（教育長回答）このまま少子化が進めば平成24、25年度には複式や複々式学級が増大します。子どもたちがどのような環境で学ぶのが望ましいのか、学校の環境、集団生活、知識だけでなく、お互いに学び合い、考え合う環境が必要です。複式の状況を保護者にも検討してもらい、意見をいただきながら対応していきます。

Q③ 福祉用具は指定業者でないと購入費の支給対象とならないが、指定業者以外も販売しているし安価に購入できる。業者指定する理由があるのか。（摩気小学校）

A③（福祉部長回答）福祉用具は、その扱いについて専門的な知識が必要な場合が多く、利用者の状態や、どこでどのように使われるかなどを検討し一人一人に合ったものを選ぶことがとても大切です。このため都道府県の指定を受けようとする販売業者には、福祉用具専門相談員など専門家の配置が義務付けられています。また、指定を受けた業者で購入しないと、介護保険の適用を受けることができず、購入費の支給が受けられません。福祉用具を購入される際は、市役所、地域包括支援センター、介護支援専門員（ケアマネジャー）などにご相談いただき、ほかの介護保険サービスの利用も考慮して効果的に利用いただくために、ご理解をお願いします。

Q④ 小学校3年、中学校2年、高校1年の子どもがいるが、新型インフルエンザのワクチン接種が受けられる時期など情報がほしい。（氷室の郷）

A④ ワクチンの接種ができる明確な時期については、保健所や医師会と連携を図り、正確な情報が入り次第CATV、お知らせ版を通してお伝えします。